

令和5年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第2四半期 (R5年7~9月)

①業種及び地域別景気動向

業種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品等	機械金属		耐久消費その他	食料品	外食	旅館	理美容その他	運輸
町内	売上額	→☀	↘☁	↗☁	→☁	→☁	→☀	→☁	↘☁	↗☁
	仕入単価	→☂	↗☁	→☂	↘☂	↘☂	→☂	↗☁	→☂	→☂
	採算	→☁	→☂	↗☁	↘☂	↘☂	↗☂	→☁	↘☂	→☂
	資金繰り	→☁	→☁	↘☁	↘☂	→☁	→☁	→☁	↘☂	→☂
	業界の業況	→☀	↘☂	↘☂	↘☂	↘☁	↗☀	→☁	↗☁	↗☁
北信		→悪化		↘悪化	→改善		→改善	→悪化		→改善
県内		持ち直しの動きに弱さがみられる								
全国※		↘-30.6		↗-14.8	↗-26.7		↘-8.7		↗-17.3	↘-17.1

(※ 景況DI値で表示、+値が大きいほど好調)

②景気動向報道及び特記事項

《町内》

天候不順でりんごの品質が落ちている収穫後の販売が懸念される(果樹小売業)

元請けよりインボイス登録に関する問い合わせが有り消費税の納税が必要になりそうだ(建設業)

インボイスにより経理負担が増える。やめて欲しい(全般)

個人ユーザーから中古機械を買い取る時、支払消費税を控除できない。制度に問題がある(機械販売)

《北信》

依然、不透明な状況が続いている(電子部品)

民間の新築件数が非常に少なくなり問題である(総合建設業)

完全に消費が落ちているし、業界全体の動きが無い(花鉢卸)

軽油価格が上昇を続けており、収益を圧迫する状況が続いている(トラック運送業)

《県内》

生産は足踏みがみられ、新車販売は6ヵ月連続で前年を上回る

《全国》

産業全体：不安定な売上が続き、先行きに不透明感が強い

製造業：生産が安定せず、売上回復を図ることができない

建設業：受注減少と人手不足が相まって、業況回復への道のりが遠い

小売業：長引く酷暑と物価高による買い控えで、全DIが悪化した

サービス業：需要が一服し、停滞感が強まるサービス業

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」